

令和4年度 学校評価 評価書

評定：3…よくできた・そう思う 2…できた・どちらかといえばそう思う 1…あまりできなかった・どちらかといえばそう思わない 0…まったくできなかった・そう思わない

	教職員自己評価			保護者アンケート		学校関係者評価		改善の方向性
	評価項目	評定	現況	評価項目	評定	ご意見	評定	
主体的・対話的で深い学び	支持的風土を育てる学級・学年集団づくりの実践	2	・児童が興味を持って学習に取り組めるようにするために、学習の導入を大切にしようと心掛けた。 ・発言する人の意見を大切にすることを意識し、指導できた。ICT機器を活用し、理科の実験の様子や体育の技を行う姿を撮影するなどして、児童の意欲につなげることができた。	②お父さんは、授業が分かりやすいと言っている。	2		3	・感染症対策も視野に入れた新しい授業参観、授業研究会の形を模索し、より校内研究としての深まりがある会の持ち方を考える必要がある。
	協同する体験・伝え合う喜び・コミュニケーション能力の育成を図る授業の工夫改善(ICTの活用含む)	2	・発表の前に、ペアやグループで話し合う時間を意識的に設け、お互いの考えを聞き合う機会を作った。 ・グループ活動など制限のある中で対話的な学びを、ある程度工夫しながら進めることができた。	⑤お父さんは、学級の一人として大切にされている。	2			
	主体的・対話的で深い学びを追究する授業研究や研修会	2	・グループ活動など制限のある中で対話的な学びを、ある程度工夫しながら進めることができた。 ・小グループの話し合い活動や発表などを取り入れることで、友達の意見から新たに考えることができていた。	⑧お父さんは、読書を楽しんでいる。	2			
道徳教育の充実	生命を尊重する心やいじめを許さない態度などの道徳的実践力を育てる活動の実施	2	・クラスの子の「今」の実態に応じた題材を探して取り組んだ。 ・いじめにつながる行動や他者をぞんざいに扱う行動は見逃さずその場で指導した。	④お父さんは、優しさや思いやりの心を持って人に接している。	2		3	・道徳授業のスタンダードを教科ごとのスタンダードで提案予定 ・今年度はコロナ禍の影響で道徳参観としての参観はなかったが、来年度以降は例年通り再実施の予定
	道徳科の授業・評価に関する研究や資料の開発・整備・交流	2	・児童同士が互いの意見を尊重し合えるように声掛けを心がけた。 ・人の思いをしっかりと考えた行動や発言の徹底を目指した。 ・道徳の教科書に沿った学習がメインで、指導書を確認するくらいで研修や開発とまでは、できていない。	⑨お父さんは、あいさつができています。	2			
	保護者等への道徳科の授業公開	1	・学年間で交流したり授業形態に工夫もできるといい。	⑩お父さんは、集団生活のルールやマナーを身につけている。	2			
体力づくり	たくましい心と体を育てる魅力ある授業の工夫改善	2	・体育の宿題は、画像を見て確認したり、体育の学習時に練習したりして家庭でも子ども自身で取り組めるよう、継続的に取り組めるよう働きかけた。	⑦お父さんは、すすんで体を動かさず遊びや運動をしている。	2		3	・コロナが5/8以降、五類に移行するタイミングで水泳学習のありかた、運動会(練習方法含め)などを検討する。 ・体育学習におけるタブレットの活用方法の周知
	体力づくりを推進する運動実践	2	・係活動を中心に外遊びを多く取り入れたり、運動会にむけてのルーティン練習を毎日みんなで取り組んだ。 ・つばさ体育では、体幹や基礎体力に特化した内容を行っていた。					
	体を動かす気持ちよさを体験させ、進んで体を動かそうとする意欲の育成	2	・特に、体育の時間を利用して、なわとびを1年間、ずっと続けた。また、意外と鉄棒を利用しない児童が多いので、体育の時間、よく取り組んだ。					
指導改善(組織的・計画的)	学力向上を目指した指導体制・指導方法の工夫改善	2	・学業テストの結果を受けて、本校児童の強みと弱みを把握し、指導に生かすことができた。 ・働き方改革に自主的に取り組み学年に声をかけた。 ・授業のことについて、職員間でもっと話ができる環境が、どこかにあればいい。	①お父さんは、学校での学習を理解している。	2		3	・多様な教科の実践が見ることで教職員の学びにもつなげる ・働き方改革…教科担任制、校務分掌の見直し
	教職員の指導力、情報活用能力、及び組織的な教育力の向上	2	・低学年のうちから部分的な強化や向上させる取り組みをできることとらなる向上に繋げられる。 ・授業をやってやりっぱなしではなく、しっかり授業の良かった点、改善点を見つめなおす必要がある。	③お父さんは、家庭で学習する習慣が付いている。	2			
	働き方改革の取組と教育活動の質の改善	2	・学業調査の結果を集計し、教員に伝達研修を行うことができた。また、課題面を明確にし、今後学校として取り組んでいくための問題提起をすることができた。					
家庭・地域との連携・協働	保護者の子育てに対する積極的な支援	2	・HPでの発信が増えた。SC、SSWも必要に応じて進めたり活用したりできた。 ・家庭とはこまめに連絡を取って対応できた。 ・子どもの気になる行動や褒めポイントを保護者と共有するために、こまめに連絡を入れた。	⑪学校は、学習(行事)参観や学校だよりの学年通信、ホームページなどを通して、教育の目標や子どもの活動の様子が分かるように努力している。	2		3	・地域学習…R5年度より実施。ふり返りを重ねてより良いものにし、R6年度よりカリキュラムに位置付ける
	保護者・地域との交流や情報発信、参観、懇談会、研修会の実施、地域人材の活用	2	・工場の学習で地域の工場と連携を図った。また、暑さ厳しいときなどバトロールにでかけた。 ・研究だよりや校内研究の取り組み、職員研修の様子などをHPに随時アップし、学校の取り組みを保護者に伝えることができた。	⑫学校は、子どもや保護者の相談に適切に対応している。	2			
	防災教育の推進、感染症対策の推進等、安心・安全な学校づくり	2	・学習の中で地域とつながる取り組みが少ない。	⑬学校は、子どもの安全のためにPTAや地域団体と協力して適切な取り組みをしている。	2			

	教職員自己評価			保護者アンケート		学校関係者評価		改善の方向性
	評価項目	評定	現況	評価項目	評定	ご意見	評定	
保幼小中の連携	子どもの校種間交流や教員の出前授業	2	・幼稚園と繋がり、様子を見たり交流したりする機会が持てた。 中学校区で、特支・教育相談等の連絡会も実施でき、共通理解の場になっている。 ・実際に互いの施設に出向いて実態を見せてもらったり、意見を交わしたりできる貴重な体験となった。			・ビデオを見せていただき、つながりを大切にされていると思う。 ・保育園との連携も望みたい。	3	☆接続期カリキュラムの実践・検証 ⇒合同で振り返りをする機会をもつ(年度はじめと、各学期末に1回程度?) ☆夏の合同研修(今年度のような形で、研修+レクリエーション) ☆研究保育・研究授業への参加 ⇒研究保育日のうちの1日なら、半日授業にして職員全員で見に行くことも可能 ⇒合同研究会のもち方(シート)や、その後の共有の仕方について、案が必要
	校種間の授業公開や合同研修会	2	・昨年からの幼稚園の参観に行く機会が増えたので、幼稚園の先生の子どものみとり方など、勉強になった。 ・中学校の先生に来てもらうなどできると、児童も中学校に向けて少し安心やイメージを持つことができる。					
	保幼小中の接続期の教育課程の編成等校種間のカリキュラム研究	2	・もっと全職員を巻き込んで幼少連携について考える機会が必要。					
生徒指導体制の充実	いじめや暴力行為、不登校等生徒指導上の諸課題の早期発見、日常的な予防指導	2	・各担当が、「いじめ」に対して意識を高く持って対応することができた。 ・生活アンケートの気になる書きぶりに迅速に対応した。書いてなくても普段のつづやきなどから気になることを聞き出すようにした。	⑬学校は、子どもに何か問題が起きたときの指導をきちんと行っている。	2	・民生委員との連絡2回あり、地域とつながっている。	3	自己指導能力育成のため ・一人一人を大切に、互いに支え合う支持的風土づくりに努めると共に、自他のよさを認め思いやる心を育てることができるように、担任に情報を発信する。 ・児童自らが自己の生活を見つめ、よりよくするための方法を考える機会をつくるようする。そのためにも、道徳・特活の教育活動との連携を重要視していく。 3つの約束について ・期間を決めて、指導を徹底する内容を限定し、全職員で同じ指導をする。部会等を通じ、よりよい指導方法について共通理解を図り、全職員で検討・実践する。
	生徒指導・教育相談体制の確立と組織的な推進	2	・問題を必ず学年と生徒指導など担当者と共有できた。 ・普段からトラブルが起こりそうな児童同士の関わりを気にかけた。					
	家庭・地域・関係機関との連携による指導	2	・保護者との連携が難しい家庭があった。					
特別支援教育の充実	個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成と活用	2	・コーディネーターを中心にして、関係機関と連携したり、職員に研修を行ったりすることができた。			3	・部会で、実際に困っている実態やケースについて、具体的な支援方法やスモールステップで取り組める内容について知恵を出し合い話し合っていく。	
	組織的・計画的な特別支援教育体制の確立	2	・気になる児童への対応の際、本人の特性を心に留め、支援員や関係機関に連携を求め、一人で抱え込まないように意識した。					
	関係機関と連携した相談体制の充実	2	・同じ子どもでも、以前うまくいっていた対応がうまくいかなかったり、その子の気分次第だったりして難しい。 ・四部会のタイミングで、特別支援教育に関わる内容の発信をできるよう心がけている。					
3つの約束	心を込めたあいさつ	2	・すごく意識した。何よりも、児童がそのよさに気付けるように話をし、リフレクションした。リフレクションが一番効果が高かったように思う。	/				
	額に汗するそうじ	2	・掃除終わりに毎回自分自身の働きぶりの振り返りをさせて、次の日の掃除の励みにしている。 ・管理職のリーダーシップにより、子ども達や職員の意識も高まってきていると感じる。					
	人の話をしっかり聴く	2	・挨拶や掃除については教師が手本になるようにした。 ・職員間に温度差を感じざるを得ない。					
瀬田北の取組	校内研究テーマを意識した授業づくり	2		/				
	家庭学習習慣の確立	2	・読書カードを持たせて、朝読書だけでなく、図書室で毎週1時間学習し、読書活動の推進をした。市立図書館の本の貸し出しも推進に役立った。					
	進路指導・キャリア教育の推進	2	・どれも必要な取り組みなので、最大限、努力してきた。 ・生活のきまりを逐一確認し、行き当たりばったりにならない指導に努めた。					
	読書活動の推進	2	・家庭学習について、協議すべき(特に宿題の量)。児童のやる気が持続しなければ、教師の指導する負担が増えるのみではないかを感じる。 ・読書活動の推進のために図書の充実が必要である。					
	国際理解教育の理解と実践	2	・キャリア教育について弱い部分がある。 ・校内研の取り組みについて、あまりにもテーマが大きく、取り組みにくい。					
	集団生活におけるルールやマナーの定着	2						
							1. 心を込めてあいさつする ・ここに委員会朝のあいさつ運動の継続とポスター作り 2. 額に汗してそうじする ・美化委員会で、取り組んでいる学級の表彰やポスター作り 3. 人の話をしっかり聴く ・伝え合う楽しさを感じられるようなミニゲームやエンカウンターの実施 ○学級活動(2)「日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」の中で、3つの約束について学級会を開き、日々の活動について振り返り、話し合うことも有効。	
							1. 読書活動の推進 『たくさんの本に出会う』(量) ○市立図書館の朝読書用図書貸し出しの継続 ☆市立図書館電子図書の導入 ○読書マラソン・記録カードの紹介 『興味のある本に出会う』(質) ○図書委員会と図書部の連携→ポスターや読み聞かせ等の活動 ○他教科との関連(国語科、特別活動等)した活動を紹介 2. 読書環境の整備 『図書室の整備』 ○学校図書支援事業の活用 ○ボランティアの活用 『教室・OS等の整備』 ○学級文庫の入れ替えについて提案(担任の負担なくできるように) ○調べ学習や並行読書等に関連する本の掲示例を紹介	

学校満足度(児童アンケート)	3		⑥お父さんは、楽しく学校へ通っている。	2	・先生達が子ども達をよく見ておられます。信頼感を感じます。	3	
----------------	---	--	---------------------	---	-------------------------------	---	--